大会の参加に当たって

（1）各所在地の自治体や学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。

（2）入館前２週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当ないか確認しておくこと。平熱を超える発熱
- 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
- だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

（3）「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。

（4）厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源をＯＮにした上で Bluetooth を有効にすること。

（5）マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。

（6）コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。

（7）入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（２m以上）をとって行動すること。

（8）レース終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。

（9）唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）

⑽ 食事は、大会当日出場選手は選手控え場所で取ってもよいが、翌日以降の出場選手は、観客席で取ること。人との距離を２m以上保ち単独で取ること。

⑾ 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

⑿ 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
- チーム共有のドリンクサーバー
- アイシングバス、トレーニングバイク等
- メガホン、横断幕、のぼり
- 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
- チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
- 練習時のパドル・コード類

第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会・監督者会議資料

大会規模・参加クラブ数793クラブ ・参加人2,927名・個人種目数3,902種目・リレー種目数457種目

1．競技について

（１）本競技会は、2021 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
（２）競技は、年齢区分ごとにタイムスケジュール通りに行う。予選は 10 レーン、決勝は８レーンで行う。
（３）予選競技は各種目ともタイムレースで行う。出場者が８名以下の場合、予選は行わない。
（４）決勝は全種目行い棄権者が出た時は、次点上位より順次出場権を与える。
（５）決勝進出は、同記録で予定人員を超えた場合、スイムオフを行う。ただし、女子 800m・男子 1500m自由形、および補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は２名とする。
（６）招集は競技開始 10 分前から行う。
招集の際に水着の確認を行う。本人確認のため、必ずＡＤカードを持参すること。
（７）予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の８：55 までにリゾリューションに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円の棄権料を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後１時間以内に棄権料 3,000 円を添えて届け出ること。予選、決勝いずれも無断で棄権した場合はさらに 3,000 円を徴収する。
（８）リレーオーダーは、予選は９:15 までに、決勝は当該予選競技ランキング発表後 30 分以内にリゾリューションに提出すること。
（９）リレーの引き継ぎ判定は、PT8000 により判定する。
（10）予選競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただし、50m種目、フリーリレー、メドレーリレー、背泳ぎおよび各種目最終組については、速やかに自レーンより退水すること。
決勝競技は横退水とする。
（11）バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
（12）800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
（13）公式計時ＳＥＩＫＯによる計時バックアップは、ビデオ計時装置を使用する。
（14）予選は組のみの紹介、決勝は選手紹介を行う。ＣＳの決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
（15）本大会は上訴審判団を設置する。
（16）本大会はＡＤコントロールを行うので、常にＡＤカードを携帯すること。

2．表彰について

開会式・開始式・12 歳以下表彰式・閉会式は行わない。
（１）１位～３位にメダルならびに賞状を、４位～８位に賞状を授与する。
（２）賞状は、２階エントランス受付の賞状受渡所で受け取ること。
（３）クラブ対抗の得点、ＣＳにおける 16 歳以下の入賞者に対する加算点、対抗戦同点の順位は要項による。
（４）記録証は日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで作成すること。

3．全体スケジュール

日　時	事　項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
8 月 21 日(土)	公式練習日	13：00				練習終了 18：00	18：30
8 月 22 日(日)	１日目	7：15	9：15	15：25	15：45	16：55	18：30
8 月 23 日(月)	２日目	7：15	9：15	15：30	15：45	18：05	18：45
8 月 24 日(火)	３日目	7：15	9：15	15：40	15：45	18：30	19：00
8 月 25 日(水)	４日目	7：15	9：15	16：15	16：15	18：40	19：00
8 月 26 日(木)	５日目	7：15	9：15	14：10	14：15	15：45	17：00

4．プールの使用について

コロナ対策に一環として、年齢区分による練習時間を設定する。

（１）メインプール
① 水深は 2.0ｍに設定する。
② 水温は 28.0 度に設定する。
③ 入水はダッシュレーンを除き、足から静かに入ること。

④ 練習は競技開始15分までとする。
⑤ ダッシュレーンは０・９レーン、レーンの増設については、通告および電光表示板で行う。
⑥ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
⑦ 公式スタート練習は、行わない。
⑧ キックボード、プルブイ、スノーケル以外の使用を禁止する。

（２）サブプール・ダイビングプール
① 水深は1.4m～2m
② 水温は28.5度に設定する。
③ 入水はスタート練習を除き、足から静かに入ること。
④ サブプール１～３レーンを女子専用、５～７レーンを男子専用とし、時間を限定し２・６レーンをペースレーンとして400m以上の専用アップレーンとする。
⑤ ダイビングプールでは、３レーン分をダウン専用とする。
⑥ 飛込みは禁止する。４レーン（バックストロークレッジ付きスタート台設置）はコーチの管理下においてスタート練習ができる。
⑦ ホイッスルの使用は、感染拡大防止の観点から禁止する。
⑧ キックボード、プルブイ、スノーケル以外の使用を禁止する。

５．水泳場の使用について

（１）「競技会場においてのロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
（２）観客席から１階（プール）へは南東側階段を使用し、観客席へはダイビングプール側の階段を使用すること。
（３）プールサイドにコーチ席は設けない。
（４）ＡＤカードは、館内にいるときは常時首からさげていること。また入場に際しては必ずＡＤカードを提示して係員の指示に従うこと。
会場でのＡＤカード発行および再発行は選手票1,000円、付き添い票2,000円を徴収する。
（５）更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し、控え場所にはしないこと。

６．注意事項、その他

（１）公式掲示板を２階エントランスに設ける。
（２）プログラムの訂正およびミスプリントは、当日９：00までに所定の用紙に記入の上、リゾリューションに届け出ること。（前日に提出可能な届出は受け付ける）
（３）選手・監督・コーチは、ＡＤカードが撮影許可証となる。
（４）水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
（５）ドーピングコントロール保護者の同意書（18歳未満競技者親権者同意書）を持参すること。
（６）盗難防止の為、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
（７）忘れ物は２階エントランス受付に保管する。最終日競技終了後、廃棄する。
（８）日本記録（高校・中学・学童を含む）の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから３年以内の選手は、監督者会議終了後リゾリューションまで申し出ること。
（９）インターネット配信は予選、決勝ともに「YouTube」でLIVE配信を行う。
（日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる）
（10）競技結果をＳＥＩＫＯ競泳リザルト速報サービス（http://swim.seiko.co.jp/）および日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」（http://sp.j-swim.jp/）にて確認することができる。